夕刊
磐城新聞
一月十九日發行

休刊 大祭日第一第三日曜
定價 一部二錢 一ケ月六十錢 郵税十五錢
廣告料 壹行六十錢 指定廿錢增
發行兼編輯印刷人 遠沼龍[illegible]
福島縣平町田町十六番地
發行所 磐城新聞社
電話五六四番

二十週年を迎へる

石城造士會の昨今

齋藤昌武
佐藤吉雄
共記

（承前）

お互の學友が將來への大きな力のために、アウトラインみたいなものを持つことも確に意味のあることではなからうかたゞ今の造士會にこれら先輩後輩をつなぐなんの中心もなかつたことが惜しくてならないなんとか自分等も骨折りしてみたい、所感の一端を申し上げて見よう

意氣と熱とに燃ゆる若人の集りなど面白いものはあるまい、而かも郷を同じうして離れて來つた同志が寄り集つて自治的精神を基礎に學びの道に精進しつゝあると云ふ事は意義多き事と信ずる

三年乃至は五年の學窓生活に於て兄弟の如く一つ釜の飯を食ひ乍ら共に學び共に遊んだことこれがやがて御互ひ同志の記憶の中から永遠に忘れる事の出來得ない思ひ出であり、俺達を人に迄陶治してくれた學び舍と云ひ得やう、廿年一日の如く水車式にやつて來たと云ひ得やう

けれどその中には政治的に、或は教育界にと云つた樣に幾多の先輩諸氏の活躍してゐられるのを見た時私達は全くうれしくてならない、そして俺達もより一層の努力とそして郷土愛に立脚して突進しなければならない。それにはどうしても私達は次の樣な事を常に考へてゐる、先輩との連絡關係の事である、我々は舍より出て一歩實社會に出ようと私達は少くとも先輩として一層將來の石城造士會を考へねばならないと信じてゐます

而して好學の士の東都に遊學する者に對して何處迄も相たづさへて益々造士會の發展を期し度いと思ふ出來る事なら舍の改革等についても考へて見度いと思ふて居ります、先輩諸氏の後援助を願ふてやまない

今や色々の談樂等も設けたい考へです、野球チーム等を作つて日曜等をトとして試合等を試む等全く我等の舍をして住みよい明るい寄宿舍とする事について舍生はあくまで自治的精神を發揮してゐる、廿周年を迎へる我が造士會をして益々意義多からしめんことを誓ふ

童謠詩

赤彦先生（一）

島田忠夫

童謠つくる
赤彦先生
疊の上に
原稿たいて
とても大きく
兩の眼あいて
書いて消すから
童謠できぬ
蛙ころ／＼
夜中もすぎる

ひばり

山口正夫

ひばり
ピユル　ピユツ
山の一軒屋の
陽が赤い
ひばり
ピユル　ピユツ
もやのにぼろに
うす明り

山の晝

原勝

眞晝のしづかな
山の家
大根ほし場に
ねころんで
空の鳥よ
さむないか
菊の花だろ
匂つてる
こゝの日だまり
日の暖さ
空の鳥よ
下りて來い

—（今月今日）—

△荻生徂徠歿す、復古學派の大儒、舊來の訓義を廢し一己の見を立つその人材不世出と云ふべし、著書頗る多し（享保一三）

△コペルニカス生る伊太利の天文學者、近世科學の基礎を固めた偉人である（紀元一、四七三）

△ジエムス・ワット生る、父は蘇格蘭の船具商、蒸汽機械發明家として聲名萬古に傳ふ享年八十四（紀元一、七三六）

元帥府設置（明治三一）

ラヂオ

……二十日（火曜）……

仙臺 JOHK

△前七、〇〇 七、三〇B ラヂオ體操
△九、〇〇A 氣象通報
△九、〇五 經濟市況
△九、一〇 料理獻立 一、鷄蒲漬 二、蟹煎餅 中村彪發表 日用品値段
△九、三〇 一〇、三〇A 經濟市況
△一〇、三〇 一一、〇〇A 家庭講座（子供帽子の製作に就て）『二』菱尾幸一
△一一、四〇A 經濟市況
△正午 時報
△後〇、〇五 〇、四〇A 管絃樂とトランペット獨奏
△四、〇〇A 全國ニユース、氣象通報、告知事項
△一、〇〇 一、五〇 二、三〇A 經濟市況
△三、四〇A 氣象通報（積雪）
△三、五〇 經濟市況
△四、〇〇A 全國ニユース
△五、三〇A 經濟市況
△五、四五 今晩の番組豫告
△六、〇〇 六、三〇A （子供の時間）武勇童話 未定 江見水蔭
△六、三〇 七、〇〇A 文藝講座（名作のグリムプス レミゼラブル）『つゞき』豐島與志雄
△七、〇〇A 全國ニユース（官廳ニユースを含む）ニユース、氣象通報、番組豫告、告知事項
△七、二五 七、五五A 講演（英國のお土産話）候爵前田利爲
△八、〇〇（百人一首朗讀）いくよ會 菊地ゑた子 龜井つくも
△八、三〇 八、四〇 會津萬歲
△八、四〇 八、五五A 小唄
△八、五五 九、三八A 新日本音樂
△九、四〇A 時報、全國ニユース、氣象通報、番組豫告、告知事項

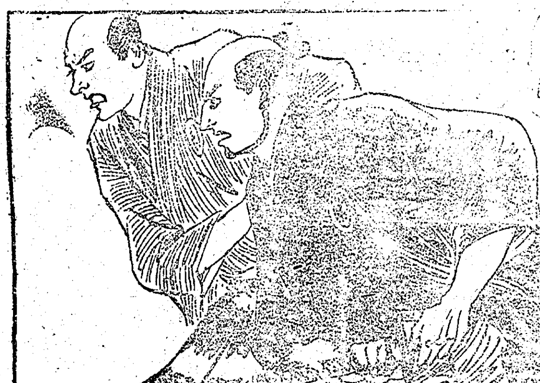
講談

赤鞘安兵衛

東京 桃川燕二演
村田月光畫

（一五〇）

安兵衛始め一同も意外なことに各々十內の持つたる連判帳を覗き込んで見ると如何にも大石親子の名は切取られて後方もない……『大石の仰せに其方大義ながら、此連判狀を持つて小野寺方へ參り京にある人々に兼ねて御相談申し上げた大儀は、切角ながら內藏介に於て思ひ止まつた、依つて連判狀を切抜きお返し申す、各々方も天下法度の仇討なぞは止めにして、主取り仕官をなさるなり、又は分銅はかりの目をそゝるなりして、子孫に幸ひを殘さるゝが上分別、斯く傳達を致し吳れとのことにござつた、餘りの事に其場を去らず大石親子を斬つて棄てんと存じたが、斯くては御一同へ此義を傳へられぬことになりは致さんかと、怒りを忍んで飛付けてござるが各々方には如何なさるや』これを聽いて前へ乘り出したのは岡野金右衛門……『何と云はるゝ竹林、大石に於ては連判帳を切抜き我々に主取り仕官勝手次第分銅はかりの目をそゝるとも都合のよい樣に致せと申したと、夫れは實際か』……『サア事實であるかないか、此連判帳で分ることだ！』……『扨々憎むべきは大石親子、我々忠義の面々を好くも今日まで釣りをつた、斯くなる上は內藏介親子の五臟六腑を摑み出して喰つても飽き足らん、サア山科へ乘込んでズタ／＼にして終へ』此座に於ては一番の年嵩でございます、烈火の如く、憤つてオッ取り刀で立上る、一同のものも義に勇む面々、何かはもつて躊躇すべき銘々血相變へて立上る、斯樣な場合に堀部安兵衛武庸は、兩腕を組んだまゝ、床の前の柱に寄掛つて泰然自若、一向に起たうとも致しませぬ……『堀部起たんか、一緒に山科へ乘込まんのか』『オイッ堀部』……『貴公は先づ御免蒙らう山科行きは見合せに致す！』……『ナニ參らんとな、何故我々に同意致さん』……『まだ／＼逸る場合でない、チト亂暴に過ぎるから御免を蒙ると申すのだ』……『然らば此連判狀は何うする』……『されば大府親子が切取つて、是非共切抜けと云へば堀部安兵衛武庸の名を削り取る分のこと』……『何連判狀から名を除く、是れ堀部貴樣は量見が腐つたか！』……『イヤ量見は腐りはせん、堀部安兵衛武庸は武士だ、武士を捨てゝ何うする』……『量見の腐らぬ人間が連判狀の名前を切抜く、大石が切抜けと云へば切拔く分のことゝは何んだ、夫れでも量見が腐らぬのか』……『安兵衛の武士と連判狀の名前とは左まで深い關係はない筈』……『呆れた奴だ、自分の名前と自分の關係ないとは何のことかいつそ安兵衛を血祭りに上げて然る後山科へ乘込め』……『勿論そうだ』血氣に逸る一同鯉口を寛げてグル／＼と安兵衛武庸を取卷く、其時安兵衛武庸兩手を廣げて一同を制し……『扨各々方の短慮には驚き入つた、殊に揃へも揃つて物忘れをなさるとは如何のことでござる』……『此の場に堀部弱音を吹くな、何が我々短慮で物忘れを致した』……『されば各々方は赤穗城明渡しの砌は、天地神明に對して何と誓はれた、此の大望成就するまでは事の善惡に拘はらず內藏介の下知に從ふと云はれたではないか、武士の一言は金鐵にひとし、今日內藏介殿が連判狀の名を切拔けと申されたならば速かに切拔くが好いではないか是れ事の善惡ともに大石の下知に從ふに當るものだ、如何でござる是れでも物忘れはなさらぬか』小野寺十內進み出て……『堀部貴公は腕辯を弄するな連判狀は內藏介が反古にする以上は下知に從ふの箇條は消えた譯だ、勿論我より破つた譯ではなく內藏介より破つて來た、左すれば下知に從ふべき謂はれはない』



廣告

時計職見習生募集
十四五才迄 詳細面談
要保證人
平町 精幸堂

吉田眼科病院

鼈甲齋四大幹部競演
虎市、小虎丸、蘭丸、虎一丸
廿日廿一日
聚樂館

夜間診療
胃腸
内科 十二指腸虫病
專門
内科部
梅毒
淋病 皮膚病 婦人病
專門
外科部
松村胃腸性病科醫院
（平南町電話一〇七番）

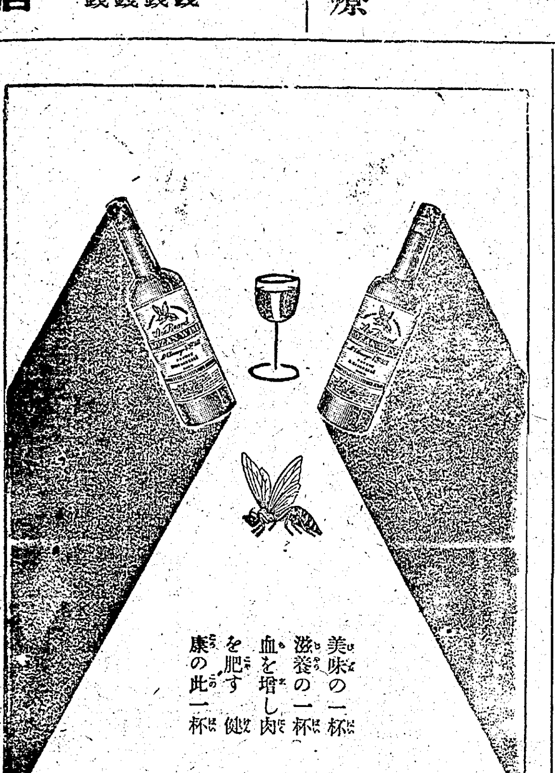
毛糸！
國産優等毛糸 一オンス 十一錢
國産中細毛糸 一オンス 十三錢
國産極細毛糸 一オンス 十四錢
國産霜糸降毛 一オンス 十五錢
編物器具類ナラドンナ品デモハシモトヤデ御間ニ合セ致シマス
平町田町
ハシモトヤ糸店

神戸牛そこのけの
優秀清新の……
牛肉大値下
ヒレ 百匁 九〇
ロース 同 七〇
上肉 同 四〇
並肉 同 二五
お用命次第いか程にても早速お屆け致します
電氣すき燒器を取付けました
スキッチひとねじりで直ぐグツ／＼と煮上ります。正に超スピードです……
味は？これ自慢ながら百パーセントです
お家族樣御同伴を歡迎いたします
牛豚鳥料理
平町田町
石川亭
電四三

外科
内臟外科 整形外科 外科一般
醫學士 松永憲一
平新川町十九
木村病院
◇産婦人科院長從前通り診療

鯉あらひ
始めました！
一人前 金貳拾錢
南町 相馬屋川魚店
電話二七一番

生花教授
池ノ坊流
生花を懇切丁寧に御教授いたします、お遊びがてら御出で下さい。
平町四丁目和泉屋旅館
須藤まつの


美味の一杯
滋養の一杯
血を增し
肉を肥す
健康の此一杯
蜂ブドー酒
5-60

入院隨意（自炊の便あり）
X光線
外科專門
平南町
上田醫院
病室完備
電話一一二九

美佐男御召こ
優秀銘仙陳列特賣
三井呉服店

内科、小兒科
花柳病科
入院應需
藤沼醫院
平町紺屋町
電話平局五〇七番

ヨウ
モーダン！
斷然三一年型だナ
ドコの新調だい
コレハレイの
ソレ正札堂さ
品は豊富で撰取り取り
時代をリードするこのスタイル

月曜論壇

奔放なる彼等よ

交通頻繁な街頭にその醜骸をさらけ出して所謂善良なる風俗を紊す南町附近の私娼取締に就ては曩に荒井署長時代に於て一定の施設を命じて以て外部との交歡を遮斷せしめ更にその街頭進出を嚴禁して風紀の維持革正に一新例を開き當時大に一般をして老署長尙は健在なるを思はしめた

0

この思ひ切つた名案の斷行により蕩兒の遊興心を唆る唯一の戰法とも謂ふべき格子內の喃々を阻まれた彼等はその筋の目を偸んで勇敢にも街頭に進出し誰れ彼れの差別なく行人の袖を捉へて苟も遊興の資力ありと認めた場合の如き往々殆と暴力を以て之を拉し去るが如き敢て珍らしい事ではなく既報木村代議士に係るナンセンスの如きこの界隈にとつては一の尋常茶飯事に過ぎない

0

哀れなる人の子として彼女等の辿つて來たプロセスを想ひ將た又不況に喘ぐ營業主の心情を忖度する時に於て徒にその跋扈跳梁を咎めんとするものでなく而も社會政策上或る意味に於ての安全瓣とし最少限度に於て之の種の存在を必要と認めてゐる有識者も少くない折柄ではあるが眼中殆と取り締り官憲なくその奔放底止する處を知らざる現況に對しては吾人の斷然許容する能はざるものがある

0

乃ち生きんが爲の奮闘として一面同情すべき點は之を認むるも所謂風紀維持の爲に當業者の自覺內省によつてこの際この弊風を一掃し而して糜爛せる夜の平町より淸楚溫雅なる夜の平町に更め度いと思ふ、而も之の種の改良によるも亦所謂意馬に跨つて醉國に遊び心猿に曳かれて柔郷に入るもの何ぞその數を減せんや、そこは恐らく大丈夫であらうと思ふ

0

當業者の自覺に俟つに非んばその間の矯正蓋し百年河淸を待つに均しい、敢て至囑す

入學試驗準備は
基本練習に改め度い
受難の兒童に衷心同情して
町內某教育家が希望を語る

入學試驗制度は進學をこゝろざす小學兒童に對する鬼門として恐れられ試驗地獄の名稱迄與へらるゝに至つてゐる兒童は今やその試驗期日を目前に控へ色々な遊び事や運動もよそに試驗準備に惱まされてゐるがこれを見る父兄は勿論教育家連が如何に心を碎いてゐるか右に關し町內某教育家は語る

試驗問題の性質やその方法は每年變つてゐるが兒童の學業成績や操行其他を小學校長よりの內申に基づき中等學校長が參考として口頭筆記の三者で及落を決定してゐる豫習教育を行ふ事は兒童教育を破壞するもので各科の特別豫習をなさずとも分る樣な本當の基本的問題を出して平常体得せる傾向を認めて受驗準備とするが良い兒童の性質に依つて異るが陽性の者には口頭を主とし陰性の者にはそれと反對に筆記を主として口頭を從とし資性を認めて問題も基礎智識に重きを置き實生活の加味した樣な國民として知らねばならぬ時期の問題等でともかく基本練習に限る

內鄕村信用組合
年と共に成績良好
昨日總會を開催

內鄕信用組合第十六回總會は昨十八日午後二時から同村裁縫女學校に於いて開催したが出席百九十四名委任狀百三十八名欠席八十名、菅波組合長開會の辭を述べて戊申勅書を奉讀し專務理事山崎庫太郎氏より事業報告及昨年須賀川町に於いて開催された第十九回縣下產業組合總會狀況（協議事項及知事志村中央會頭石黑農務局長告辭朗讀）並に小名濱町で開かれたる第一回役職員會の狀況報告及郡內各組合の內容說明あり野木監事の監査報告について議事に入り

一、昭和五年度事業報告書財產目錄、損益計算書の承認及昭和五年度剩餘金處分の件

一、昭和六年度內借入金最高限度及一組合員に貸付最高限度決定の件、借入限度を金一萬圓、貸付限度を金二千圓となす

一、昭和六年度內餘裕金預け入先き承認の件、預け入先きは福島縣信用組合聯合會平出張所及郵便局となす

一、昭和六年度內準備金及特別積立金を事業資金融通の件

一、監事一名欠員に付補欠選擧の件（四倉西次郎氏當選）

一、信用評定委員任期滿了改選の件

を決議し了つて產業組合木田講師の講演あり四時閉會したが同組合に於ける財產狀態は資產四萬九千八百六十九圓十三錢負債一萬九千百四十五圓八十七錢今期收入四千五百八十六圓七十八錢支出二千四百六十三圓四十八錢差引剩餘金二千百二十三圓三十錢でその處分案次の如く山崎專務理事就任以來成績頗に見るべきものあり今後の向上發展を期待されてゐる

剩餘金處分案

一金四千五百八拾六圓七拾八錢、本年度總益金

一金貳千四百六拾參圓四拾八錢、本年度總損金

差引金貳千百貳拾參圓參拾錢、本年度剩餘金

此處分

一金六百五拾貳圓參拾參錢、準備金（剩餘金總額の四分の一以上）

一金壹千拾九圓八拾七錢、配當金（出資拂込濟數に對し五年五分）

一金參百圓、特別積立金

一金拾壹圓拾錢、後年度繰越金

第二師團將校現地戰術
今日から三日間
湯本平附近で

平、湯本町附近を中心とする仙臺第二師團將校の現地戰術は十九日より三日間行はれるが當演習には赤井村出身若松淸司中佐外將校二十餘名來郡する筈で尙二十一日には花澤中尉並に小野參謀長の戊申戰役記念講話演習經過報告を舊城跡で催すと

磐東銀‼株主總會
財界の現狀に鑑み
三分配當決議

植田町磐東銀行では來二十四日同行內に株主總會を開催し左記分配案を附議すると

當期利益金五千百九十二圓三十八錢　內法定準備金三百圓　退職給與基金二百圓、株主配當金二千二百十二圓五十錢　後期繰越金二千四百七十九圓八十八錢

と云ふが株主配當は財界の現狀に鑑み增配せず前期通り年三分であると、因に同行は銀行所在地の植田町が人口一萬未滿の爲め新銀行法に依る資本金制限には抵觸せず現資本金五十萬圓で繼續差支へない事になつてゐる

需要減と安値で
地方養鷄業者の苦痛
近く來る恐怖時代に
當局頭を惱ます

郡下に於ける養鷄事業は郡農會其他關係筋の宣傳獎勵に依り近々兩三年間の進出は一般農家の副業としては勿論之れを本格的に經營するもの續出し目下植田町一帶と平町を中心として群小養鷄業者約二百餘場を算する狀態にあり從來農家の副業として經營されたものが少なからぬ利益から斷然本業として經營する迄に進んだが昨今に於ける全國的の供給者激增と不況に因る需要激減とに依り鷄卵の大暴落を來し目下平町附近卸業者間の賣買相場は一貫目一圓八十錢台（個數中通り六十五六個）で小賣りは一個平均四錢に過ぎず之れを大正七八年の最好況期と比較すれば三分一の安値なるに加へ需要に至つても尙半減以上の有樣でその餘波は農家衰微による鷄糞肥料購買高減少廢鷄肉の價格安（目下十六割）等を招徠し尙ほ飼育料物價の割高等其他に影響されて勢ひ事業不振に陷り最近春期産卵季を目前に控へて倒産するもの可成多くなり殊に農家に於ける前記の情勢につけ込み肚の黑い一部商人の爲めに相場以下の價格を以てその買ひ入れが行はれ經營至難の結果今春産卵後にあつては餘程斯業者の變動あるべしと識者間では憂慮してゐるが郡農會農事試驗場でもその善後策に就て相當頭をいためてゐる

平理髪組合
役員を改選す

平理髪組合總會は十七日午前十時からマルトモ樓上で開催したが出席百五十名議事終了後樫村署長の訓示ありそれより役員改選を行ひ左の通り當選した（組合長）比佐信太郎（副組合長）渡邊忠太、伊藤繁、會田夕三

寄附金を胡摩化して
遊興費を捻出す
某青年團の內紛
昨日の總會で糾彈さる

郡內某大村青年修養會總會は昨十八日午前九時から同村劇場に於て開催されたが出席男女を合せて三百餘名劈頭某會員が緊急動議ありと叫び坐長その前例なしとして之れを拒絕するや先年の總會に於てその實例あると事を力說し奮然自席より過般縣下體育大會の際有志より募つた二百四十圓の寄附金中料理店をして虛僞の領收書を作製せしめ一二幹部の遊興費を捻出したるやの風說あり眞相如何なる質問が出て開會早々から終始殺氣立つて場內紛々擾々の裡にどうやら議事を了り橋本磐中校長其他の講演あつて午後三時散會した

寒風に飛ぶ
入山選手連
昨日の驛傳競走

入山炭礦競技部選手は既報の如く耐寒的催として昨十八日午後二時湯本、小名濱間往復驛傳競走をなしたと

他人の子を借りて
物乞ひの餌にする
人を食た乞食の新戰術
その筋で嚴重取締る

炭礦方面に最近幼兒を連れその子供を餌に憐れを乞ひ步るく乞食又は遊藝人が激增したので其筋でも不審を抱き取調べの結果木賃宿其他に宿泊せる者が一日十錢內外で貧困者より幼兒を借受け此の行爲に出てゐるものと判明今後嚴重取締ることとなつたと

假の證人で
前借を騙取
丁稚の事から紛紜

內鄕村一ノ坪社宅六〇號坂本留藏は實子淸（八）を昨年八月横濱市鶴見區生麥町數製造業中澤軍一郎方に前借百圓で住み込ませたが淸は其後前後三回に涉り軍一郎方より金品を持出して逃走を企てたが果さず盜癖が直らぬので親許に返そうとしたが保證人の同村坂本藏作は數年前に死亡して實在の人でなく前借合計百五十圓は留藏が支拂はぬので軍一郎は留松を私文書僞造行使印章僞造行使詐欺として今十九日平署へ告訴したと

桑原は懲役三年
けふ控訴院の判決
炭車事件も落着

不動澤炭礦五十嵐鑛業所に於ける炭車突き落し事件の村松良雄（三二）並に平郵便局の切手印紙橫領犯人桑原庸夫（二四）に對し今十九日宮城控所院に於いて村松は懲役八ヶ月桑原は同上三ヶ年の判決言渡しがあり服罪する事になつたと

庶民金庫總會

平信用組合總會は昨十八日庶民金庫樓上で開催今期配當六分を決定した

鮫川水利組合議員
鷲淸昇氏當選

鮫川水利組合では十七日午後一時から植田町役場で役員補缺選擧會を開催選擧の結果鷲淸昇氏に滿場一致で當選就任することとなつた

高久火防檢查

高久村消防組では今十九日各戶の火防檢查をなしたが成績良好で次回は二月十四日施行すると

受持巡査惠む

內鄕村大字宮字瀧居住安藤某（[illegible]）同妻（六六）の兩人は同所に居住する長女まさの（四二）を賴り二た月程前に長野縣上田市から來たものであるが親子の間が圓滿に行かぬ爲更らに草野村にゐる二女の厄介になる心算で出掛けようとしたが汽車賃がなくて困つてゐると云ふのを巡回中の駐在高橋巡査が聞き込み五十錢を惠んだ上尙ほ長女から每月食料を送る約束をさせたので知る人何れもその隱德を多としてゐる

四倉濱賑ふ
連日鰯の大漁

四倉濱は昨今鰯の大漁で煮乾粕製造家共に忙殺されてゐるが遠くに愛知方面より買入れのため入込み値段も相當よく頓に活氣を呈してゐる

酒好きの老人が
川へ墜ちて死亡
昨夜三坂村で

三坂村下三坂明戸農永山茂吉（五六）は昨十八日午後九時頃强か泥醉歸宅の途中誤つて同村三坂川に轉落溺死したのを今曉通行人が發見平署に屆出たので係官出張檢視した

共濟委員會
年末救濟を協議

石城共濟委員會は二十三日午後一時から平町役場で開催年末の貧民救濟に關して協議すると

赤井颪

◇犯罪の陰には女あり、寢卷の裏には虱ありとシヤイロツクが言つたのかどうだか近頃詰腹になつたさる會社の幹部級にも、陰に女がついたさいふから、弱いのも女だが强いのも女の力か◇只一人の女の爲めに身代を潰し職を棒に振り、夜逃げをする等々、從盤の網にかかる亡者の盡きせぬ世相かや◇變態性といふのか、此寒いのに御苦勞樣に便所を覗き廻る出齒龜の後裔があるといふので、藝者共が恐慌を起してる◇快活な藝者ばかりの開花亭などでは花柴は太い眉を八の字にして心配してれば、仲家の一寸助はブツタマゲて身體が縮んぢまつたとは、噓ツケ元からチビぢやないか、中で民治だけは圖う〳〵しいので『只では駄目だよ、玉代出せ』と怒鳴つたら逃げ出したそうな。

〇……〇

酒料理を盜む

田村郡飯豐村五五今泉丑藏（三二）は昨年十月中平町田町平食堂に雇はれ中酒一升價格一圓チキンライス五十錢を竊取逃走昨日平署に捕はれた

明日の吉凶

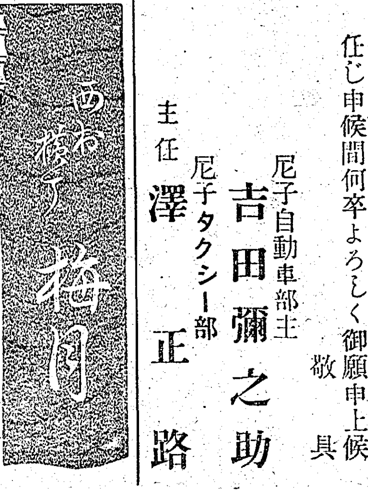
舊曆十二月二日　新曆一月二十日

▲一白の人　何物もさまたぐること能はざる隆運日起業大吉▲二黑の人　心身共に落ち付かず旅行移轉企業等何れも凶▲三碧の人　手紙書付け等人の手に殘る物には注意の日▲四綠の人　苦は去りておひ〳〵と樂に向ひくる日金談は凶▲五黃の人　油斷すれば逆行し易き日金談或ひは約束ごとは凶▲六白の人　內に英氣を養ふて輕擧・動は深くいましむべし▲七赤の人　事成るに近づきて瞬間に破敗を生じ易き日▲八白の人　氣分軟弱におちいり易き日無理をすれば損あり

店員募集
高等小學校卒業程度
東京市日本橋區通油町二內外各種糸物商
藤掛商店採用
希望者磐城新聞社宛履歷書送付あれ面會は通知す

カキ料理
を初めました
四倉町新須賀
美なとすし

開店御披露
謹啓今般時代の趨勢に鑑み當店に於ても貸切部を新設仕り三十一年式新型セダン車入車仕候一般貸切の御用命賜り度御願申上候
就而貸切部主任として愚弟澤正路を任じ申候間何卒よろしく御願申上候　敬具
尼子自動車部主　吉田彌之助
尼子タクシー部　主任　澤正路



平町田町
高久病院
電話五一三番
醫學士　高久忠
新潟醫學士　赤羽淸
藥劑士　佐竹菊雄
內科　小兒科
外科　花柳病科
耳鼻咽喉科
レントゲン科

特賣!!!
たひら正宗　福島縣淸酒品評會一等受領
花春　同優等賞受領
醬油釀造元
鹽屋　山崎合名會社
電話一番

專門　一般內科
內科何デモ診療ハ致シマス
呼吸器病バカリデハアリマセン
平町南町六五
川井內科診療所
電話一八一番
醫學士　川井重之
女醫　川井安子